

第 1 号議案

平成 29 年度事業報告書

特定非営利活動法人フェアトレード名古屋ネットワーク

1 事業の概要

特定非営利活動法人フェアトレード名古屋ネットワークは、名古屋を中心とする名古屋大都市圏の幅広い人々に対してフェアトレードを普及促進するための事業を行い、名古屋市の「国際フェアトレードタウン認定」を将来にわたって維持する取り組みを行うことで、身近な「買い物」を通して経済的な格差や貧困問題の解決に貢献し、環境の保全に広い関心を持ち、すべての人が夢、希望、尊厳をもって生きられる、市民が誇りに思える、魅力と活力にあふれる社会の実現に寄与することを目的として、以下の事業を実施した。

具体的には、本法人の定款第 5 条第 1 項の事業として、①フェアトレードを促進するイベント、広報事業、②フェアトレードタウン認証の維持、調査事業、③フェアトレード関連団体間の情報共有、連携事業、④ESD 等の様々な運動やセクターとの連携事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

1 フェアトレードを促進するイベント、広報事業

ア 名古屋市主催フェアトレード勉強会「フェアトレードタウン名古屋のススメ」への協力

(ア) 実施内容

名古屋および名古屋大都市圏の行政、企業、教育機関、NPO・NGO・任意団体等様々なセクターが連携する機会として、FTNN や各団体の活動状況、フェアトレードに関する最新情報を共有して話し合う、フェアトレード勉強会（主催：名古屋市環境局）の開催に協力した。

(イ) 実施日、実施場所、従事者の人数

実施日：2 月 25 日 実施場：SMBC パーク栄 従事者の人数：8 名

(ウ) 受益対象者の範囲と人数：フェアトレードに関心のある一般市民 100 名

(エ) 収益 0（千円）

(オ) 費用 0（千円）

イ フリーペーパー「惣」の発行

(ア) 実施内容

名古屋および名古屋大都市圏におけるフェアトレードの認知度向上とフェアトレードタウン活動のさらなる促進を図るため、フェアトレードの理念 や FTNN の活動を写真やイラスト付でわかり易くお知らせするフリーペーパー「惣～sou～(8号)」を100,000部発行した。FTNN 加盟団体など各所で無料配布した。

(イ) 実施日、実施場所、従事者の人数

実施日：9月12日 実施場所：弊団体事務所他 従事者の人数：編集要員4名

(ウ) 受益対象者の範囲及び予定人数

名古屋大都市圏の一般市民、「フェアトレードタウンなごや」の活動に興味のある他都市の方々など。100,000人

(エ) 収益額 0(千円)

(オ) 費用額 170(千円) (内訳) デザイン料 100,000 円、印刷費 70,000 円

ウ フェアトレードタウンなごや MAP の発行

(ア) 実施内容

名古屋および名古屋大都市圏の一般市民が“買い物”を通して地球規模課題の解決—経済格差と貧困削減—に貢献できる機会を増やし、フェアトレードタウン活動のさらなる促進や「地球とのフェアトレード」の理念の周知を図るため、名古屋市内のフェアトレード製品取扱店を地図上でわかり易く案内するフェアトレードタウンなごや MAP (店舗情報を紹介する小冊子) 作成の準備の活動を行なった。

(イ) 実施日、実施場所、従事者の人数

実施日：通年 実施場所：弊団体事務所他 従事者の人数：3名

(ウ) 受益対象者の範囲及び人数 名古屋市民 230万人見込み

(エ) 収益額 0円

(オ) 費用額 0円

エ フェアトレード・ツキイチ・マルシェの運営に協力

(ア) 実施内容

名古屋および名古屋大都市圏の一般市民が“買い物”を通して地球規模課題の解決—経済格差と貧困削減—に貢献するため、毎月一回(原則第一日曜日)、フェアトレード製品取扱店および団体等が名古屋市内中心部のシンボルである名古屋テレビ塔周辺において出展できる「フェアトレード・ツキイチ・マルシェ」の運営に協力した。なお、運営は任意団体「フェアトレード・ツキイチ・マルシェ事務局」が担当した。

(イ) 実施日、実施場所、従事者の人数

実施場所：久屋大通公園(名古屋テレビ塔下)

(ウ) 受益対象者の範囲及び人数

実施日	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
4月2日	2名	会場に来場した一般市民、約300名
5月7日	2名	会場に来場した一般市民、約300名
6月4日	2名	会場に来場した一般市民、約300名
7月2日	2名	会場に来場した一般市民、約300名
9月3日	2名	会場に来場した一般市民、約300名
10月1日	2名	会場に来場した一般市民、約300名
11月5日	2名	会場に来場した一般市民、約300名
12月3日	2名	会場に来場した一般市民、約300名

(エ)収益額 0(千円)

(オ)費用額 0(千円)

2 フェアトレードタウン認定の維持、調査事業

ア フェアトレード製品取扱店の調査

(ア) 実施内容

名古屋市のフェアトレードタウン認定を維持し、3年毎の更新審査に備えるため、名古屋市内におけるフェアトレード製品取扱店の数、取扱品目等を調査し、データベース化する。

(イ) 実施日、実施場所、従事者の人数

実施日：通年 実施場所：名古屋市内各所

従事者：30名（フェアトレードママサークルほかほか、
愛知淑徳大学小島祥美ゼミ学生）

(イ) 受益対象者の範囲及び人数 名古屋市民 230万人見込み

(ウ) 収益額 0円

(エ) 費用額 410円

イ フェアトレード・ラベルのない製品の認証制度の運営

(ア)実施内容

名古屋市のフェアトレードタウン認定を維持し、3年毎の更新審査に備えるため、国際フェアトレード認証ラベルのFairtrade International (FLO)か、World Fair Trade Organization(WFTO)のフェアトレード認証ラベルがない製品を審査し、フェアトレ

ード基準を満たしていることを認証する制度を運営に向けて検討した。

参考>http://www.ftnn.net/?page_id=8

(イ) 実施日、実施場所、従事者の人数

実施日	実施場所	従事者の人数	内容
1月12日 18:30~20:30	ユーハイム 名古屋中日店	2名	カテゴリIIIの打ち合わせ
1月24日 18:30~20:30	名古屋市身体 障害者福祉連 合会第一ワー クス(熱田)	2名	カテゴリIVの打ち合わせ

(ウ) 受益対象者の範囲及び人数

フェアトレードタウンとして認定された名古屋市の市民 230万人

(エ) 収益額 0(千円)

(オ) 費用額 0(千円)

ウ フェアトレード製品の紹介用 EC サイトの準備

(ア) 実施内容

FTNN が提唱する「地球とのフェアトレード」の理念に合致する、フェアトレード認証ラベルのない製品を紹介する、EC サイトのシステム構築、運営準備を行った。

(イ) 実施日、実施場所、従事者の人数

実施日: 5~12月 実施場所: 弊団体事務所等

従事者: 20名(名古屋市身体障害者福祉連合会、
名古屋市工芸高等学校「KOGEI DESIGN OFFICE」、他)

(ウ) 受益対象者の範囲及び人数 名古屋市民 230万人見込み

(エ) 収益額 0(千円)

(オ) 費用学 0(千円)

3 フェアトレード関連団体間の情報共有、連携事業

ア FTNN メルマガ(メールマガジン)の発行

本年度は実績なし

イ ユース層を主体としたフェアトレード関連団体間の連携支援

(ア) 実施内容

大学生や高校生などユース層を主体としたフェアトレード関連団体の情報共有や連携を促進するため、FTNN や各団体の活動状況、フェアトレードに関する最新情報を共有・周知し、フェアトレード活動を促進した。

(イ) 実施日 4月、5月、11月

(ウ) 実施場所 垂井、名古屋城、名古屋テレビ塔前、FTFJ 総会会場、浜松など

(エ) 従事者の人数 8名

(オ) 受益対象者の範囲及び人数

(カ) 収益額 0(千円)

(キ) 費用額

ウ フェアトレード関連団体による全国フォーラムへの協力

(ア)実施内容

一般のフェアトレード関連団体間、フェアトレードタウン間の情報共有や連携を促進するため、FTNN や各団体の活動状況・フェアトレードタウンの認定や活動状況・フェアトレード生産者に関する最新情報を共有・周知したり、一般社団法人 日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ) の会合に参加したりして、フェアトレード活動を促進した。

(イ) 実施日 通年

(ウ) 実施場所 垂井、名古屋城、名古屋テレビ塔前、FTFJ 総会会場、浜松など

(エ) 従事者の人数 8名

(オ) 受益対象者の範囲及び人数

(カ) 収益額 0(千円)

(キ) 費用額 0(千円)(内訳)

4 ESD 等の様々な運動やセクターとの連携事業

ア ESD 等各種イベント協賛・出展

(ア) 実施内容

名古屋および名古屋大都市圏におけるフェアトレードの認知度向上とフェアトレードタウン活動が進展する契機として、多様な人々が出会う環境デーなごや、名古屋祭り・エシカル・デー、消費生活フェアなど、主要なイベントに協力した。

(イ) 実施日、実施場所、従事者の人数

(ウ) 受益対象者の範囲と人数

実施日	名称	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲と人数
平成29年 1月14日 ～2月14 日	バレンタインもう 一つのチョコレート 展なごや	各小売店、大 学、百貨店など	4名	名古屋市民等のべ 2,000名
平成29年 2月25日	フェアトレードタ ウン名古屋のスス メ ～私たちに何 ができるの?～	SMBC パーク 栄	8名	名古屋市のフェアト レードに関心のある 市民100名
平成29年 4月29 日、30日	春の名古屋城祭り	名古屋城	3名	名古屋市民等のべ 1,000名
平成29年 4月30日	フェアトレードデ イ垂井	朝倉公園	3名	中部地方のフェアト レードに関心のある 市民5,000名
平成29年 5月13日	世界フェアトレー ドデーなごや コ ーヒーサミット	名古屋テレビ 塔下	6名	日本国内のフェアト レードに関心のある 市民8,000名
平成29年 5月21日	フェアトレードが つなぐ地域と大学	名古屋市立大 学	3名	名古屋市民200名
平成29年 9月16日	環境デーなご や・秋のフェア トレードタウン まつり	久屋大通公園 (名古屋テレ ビ塔下)	5名	名古屋市民等のべ 10,000名
平成29年 11月3日	フェアトレード コーヒーガーデン	名古屋市役所	3名	名古屋市民等のべ 3,000名
平成29年 11月4日	消費生活フェア	久屋大通公園 (名古屋テレ ビ塔下)	2名	名古屋市民等のべ 1,000名
平成29年 12月7～ 7	エコプロ201 7	東京ビックサ イト	1名	日本国内のフェアト レードに関心のある

9 日				市民 5,000 名
-----	--	--	--	------------

(ウ)収益額 0(千円)

(エ)費用額 41(千円) (内訳) 旅費交通費 40,000 円 賃借料 1,000 円

イ フェアトレード講演会・出前授業の講師の紹介

(ア)実施内容

名古屋および名古屋大都市圏の小・中・高等学校や社会教育施設において開催されるフェアトレード講演会や出前授業の講師として、FTNN 会員やフェアトレード関係者を紹介する。

(イ)実施日 通年

(ウ)実施場所 小・中高等学校、大学、社会教育施設等

(エ)従事者の人数 受付要員 1 名

(オ)受益対象者の範囲及び人数 学生、一般市民等延べ 3 0 0 名

(カ)収益額 0(千円)

(キ)費用額 0(千円)

(2) 会議の開催に関する事項

1 総 会

ア 第二回臨時総会

(ア)開催日時及び場所 平成 29 年 10 月 9 日 18:00~20:00

名古屋国際センター第二集会室

(名古屋市中村区那古野町 4 7 - 1 名古屋国際センタービル 3 階)

(イ)議 題

- 1 「国際イベント等に専担で関わる役員(理事)の選任」について
- 2 「名古屋でフェアトレードタウン国際会議を開催することを 目標に、FTNN はその誘致活動と運営を行う組織の設立を呼びかける中心的存在となる件」について
- 3 「フェアトレードタウン基準 5 の“地域の推進組織が適切と認めるフェアトレード団体の 産品”の基準の承認」について
- 4 「特定非営利活動促進法の一部改正に伴う定款第 57 条の変更」 について

2 理 事 会

回数	日時	場所	議題
第一回	平成 2 9 年 4 月 7 日	ザブルックリン カフェテレビ塔 前フリースペー ス	審議事項： 1.新代表理事互選について 2.理事の役割分担について 3.2 0 2 0 年フェアトレードタウン国際会議 実行委員会（案）への参加について 4.認定 NPO 法人化の検討について 5.フェアトレード商品の取り扱い店舗調査に ついて 6.学生理事へ理事会交通費の支給について
第二回	平成 2 9 年 7 月 2 7 日	カフェヴァンサ ンヌドゥ	審議事項： 1. フェアトレードタウン 認定基準 5：地域 の推進組織が適切と認めるフェアトレード団体 の産品について 2. 名古屋に国際会議を誘致するためにプロジ ェクトを行う件について 3. (第一号・第二号議案、特定非営利活動促進 法改正、役員募集に関連して) 臨時総会の開催に ついて 報告事項： 1. 惣の進捗の報告と、取材班 Web ページ作成 案について 2. もう一つのチョコレート展企画について 3. 学習環境としてのフェアトレードタウンにつ いての報告紹介
第三回	平成 2 9 年 8 月 2 8 日	ふきあげカフェ	審議事項： 1.国際イベント担当役員（理事）の若干名募集 について 2. 名古屋でフェアトレードタウン国際会議を 開催することを目標に、F T N Nはその誘致活 動と運営を行う組織の設立を呼びかける中心的 存在となる件について 3. フェアトレードタウン基準 5 の“地域の推

			進組織が適切と認めるフェアトレード団体の産品”の基準について 4. 特定非営利活動促進法の一部改正に伴う定款第57条の変更について 5.臨時総会開催について
--	--	--	---